



- A 広々としたウッドデッキは“第2のリビング”。素足が心地よい。
 B 堀こたつ付のタタミダイニングには、こだわりの無垢テーブル。
 C 風の行き交いは家の呼吸。可動間仕切りで開放的に。
 D 洗面室は共用部とデッキスペースからの2WA Y動線で。
 E 内と外をつなぐ贅沢な空間。
 F ふんだんに使われた天然素材は、“時の楽しみ方”的の1つ。

子どもたちの領域

リビングルームの中に
子どもたちの居場所はありますか？
リビングテーブルの端でも
小さなカーペットの上でもいい。
そこにいることで子どもたちが安心できる、
そんな場所をつくりたい。
素足で、肌で暖かさを感じられる。
どこに居ても気配を感じられるから
子供も安心。ママも安心。



DATA
敷地面積 186.84 m²
1階床面積 71.47 m²
2階床面積 49.30 m²
延床面積 120.77 m² (36.53坪)



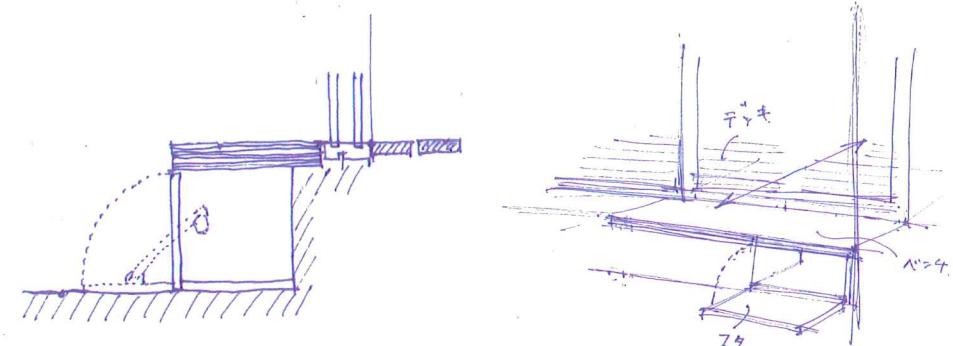
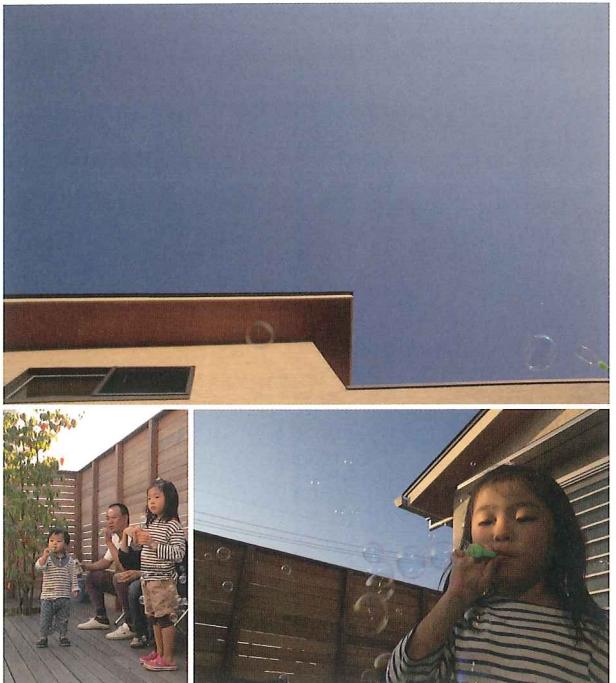
いごこち
CASE 04

完成したお家の最新情報やお客様のこだわりを
紹介する「いごこち」。今回は神戸市垂水区に
お住まいのご家族をご紹介します。



ちょっとしたベンチの秘密。

ベンチと同じ高さのウッドデッキは
部屋の中と外をゆるやかにつなぐ隠し技。
外を一段上げることで
自然と外を見る視線は
空へと向きやすく、
より広がりを持つ
のびやかな空間づくりができる。
腰かけた大人とデッキで遊ぶ
子供の視線の高さが近くなり
お互いがリラックスできる。



←ベンチはちょっとした収納にも。
おもちゃや本、ついで出しつぱ
なしになる片付かないものたちに
悩む必要がありません。





空が群青色に染まる頃、
柔らかな明かりの灯る、くつろぎの空間が
遊び疲れた子どもたちを心地よい眠りへとさそいます。



ソファの位置って大切。

最近の住宅を拝見すると
ソファの配置がテレビの正面、
という場合がほとんど。
でもあえてソファはTVの正面には置かない。
TVはあくまでも脇役だから。
リビングの役割はやっぱり『コミュニケーション』。
相対するのはTVではなく
家族や迎える客人でありたいから。
“TVのための部屋”にしないことで
結果、部屋全体を見通せて
開放感を持たせることができた。